

コロナ禍の中で教育課程の見直しや新たな取組(案)

～総合的な学習の時間・人権教育のさらなる充実をめざして

(小・中学校の連携)～

1 目的

コロナ禍の中で教育課程の見直しや新たな取組の必要性が考えられる。今年度に試行的実践を進め新年度の教育課程編成の一助とする。

2 方針

- (1) 修学旅行や広島研修・宿泊研修で取り組む「仲間づくり」「共生」「平和」「人権」などをテーマにする。
- (2) コロナ感染症に係わる差別・偏見を積極的に払拭する学校の取組を推進する。
- (3) 吉井ブロック教育研究会健康づくり部会で研究している生徒の「メディアリテラシー」能力を育成する。
- (4) 久我先生からアドバイスいただいた「聴く力」育成の一助とし、また「話し合う」「発表する」「まとめる」力を具体的事象から育む。

3 地域学習および人権学習との連携意義

(1) 地域学習と連携させて

3年生社会科公民分野では、日本国憲法の基本である「基本的人権の尊重」について学習している。そして具体的な姿として「ハンセン病問題」を取り上げ、正しく理解することは、「WITHコロナ」を生きる地球市民として重要・不可欠であろうと考える。また、現地研修で自分の目で確認することで、「今の問題」をしっかりと考える機会となる。

(2) 21世紀は人権の世紀とも言われる。本校で取り組んでいる人権集会をさらに充実した内容にするためカリキュラムマネジメントを意識する。

4 具体的方策(草案)

	1 年	2 年	3 年
9		① 広島平和学習 DVD視聴等	
10	○学年団の事前学習 [ちがいを豊かさに] (発達特性の理解)	○学年団の事前学習 [ホームレス問題] 職業観・キャリア学習	○学年団の事前学習 [ハンセン病問題]
11	○メディアリテラシー ① 基礎知識学習 ② DVD『君が僕の息子について教えてくれたこと』から東田直樹さんの生き方から学ぶ	○メディアリテラシー ① 基礎知識学習 ② DVD『ホームレスに出会う子どもたち』	○メディアリテラシー ① 基礎知識学習 DVD『人間回復の橋、こころのかけ橋となれ』 ② DVD『虎ハは眠ラズ』
12・9	③ 赤磐市地域包括支援センター等をお招きして ・自分らしさ ・持ち味や苦手な事	③ NPO「きずな」さんをゲストティーチャーにお招きして (市PTA人権研修会費)	③ 現地研修(長島愛生園) ・歴史館見学 ・フィールドワーク (県のバス補助金5万)

を共に知ろう		& 他所見学？
④まとめの取組 人権標語づくり	④まとめの取組 人権標語づくり	④まとめの取組（掲示物） 人権標語づくり
○次世代ネット主催の研修会→PTA人権研修のひとつとして案内 ○人権標語は、次年度「人権標語」9月頃に募集		
□テーマに合った演劇鑑賞の実施 （次年度の演劇力の取組を深める）		

追記：【2年生】

2年生を対象に、キャリア教育（職場体験の趣旨に沿って、勤労観・職業観の育成並びに進路学習の一環として）、人権課題のひとつである「ホームレス」問題を学習するが、「ホームレス」問題だけを理解するのが目的ではなく、身近な「人権（社会）問題」に向き合う姿勢を培うことができる取り組みを、感受性が豊かになる2年次に学習する。



取り組むにあたって

- 「ホームレス」と出会う子どもたち（ガイドブック）、『身近なことから世界と私を考える授業（明石書店）』等を利用する。
- 岡山のホームレス支援を進めている「きずな」との連携・支援をいただきながら進めていく。私たち教職員も謙虚に生徒と一緒に「学ぶ」姿勢を持って取り組む。
- 数時間の学習で「ホームレス」問題の全てを理解することは難しい。そのことを認識した上で、これからも「自分との関わりあることとして」関心を持ち続けていく「出会い」を紡いでいく。

大切にしたいこと

- ①路上生活者の生活と路上生活に至る原因について知り、無知からくる偏見と差別を減らす。
- ②「人」を人として、人の命を大切に出来る「生き方」（実践力）につなげる一助とする。
- ③生徒一人ひとりが自分との関係を考える契機になる人権課題であると考え。今なお現代社会に強固な偏見・差別が存在し、若者による「ホームレス」襲撃事件が起きている状況を変えるための具体的な学習のひとつとする。
- ④望ましい労働観・勤労観につなげていく。
- ⑤差別、偏見は「つくられる」が、また「なくすことができる」
- ⑥「ホームレス」とはいつときの生活の状態である。人をさす言葉ではない。
- ⑦路上生活という事実とホームレスの人々を結びつけて判断する際に、社会における偏見があわさってしまうと、本人が望んだ、あるいは本人の責任だけで路上生活になったという自己責任論に基づく判断をしてしまうかもしれない。判断の際、照らしあわせるべき事実は、偏見でなく、今まさに家に住んでいるという自分の生活経験である。比較すればホームレスの人々は路上生活を望んでいないという事実を想定することは容易なはず。適切な参照ができれば、適切な判断力、正しい社会認識を育てることになる。（ガイドより抜粋）

【1年生】「東田さんから、わたし・あなたが共に生きていくために」を考える

* いろんな人とかかわるちからを鍛える。(多様性を認め合う＝自分らしく共に生きるために)

* 自分を見つめ、自分とのかかわり方、他の友達とおりがあう(妥協する)ちからを鍛える。

* 自分とは違う他者とどう生きていくか？

* 自分のこだわり、タイプ 気になることはある？か考えさせる。

① 授業者自身のこだわり、タイプ、苦手なことをモデリングする。

(マイナス、プラス、明るく、真剣に、自分の生き方で大切なこと)

② じっくりと考えさせてとてもしんどいことなら無理に書かせなくてもいい。

開示させない、でも、逃がさず深く考えさせよう。

* 「それって理解してもらえてる(わかってもらえている)？」か、考えさせる。

・ わかってほしいけど、努力しているけど、むずかしいんよ

・ 親はわかってきている。

・ 友達にわかってきている

・ なかなか言えない。

・ お互いに「知る」「理解する」ことは難しい…のかなあ

・ 全員に知ってもらう必要はない。近しいひとに自分を知ってほしい

◎ 授業者自身の考えも提示して、深めていく。

* 東田さんは、自分の「タイプ」を理解してもらっているのかな？

◎ みんなは東田さんの「見方」はどうだった？

・ 「世間という私たち」は、表面的な見方だけで、偏見や思い込みを持った眼でみてしまうおそれがあるかも。

* ミッシェルさんの息子、スコットさん、ブライアンさん(自閉症の本人)の願いは何だろう？

・ 近しいひとのことを思っている。 ・ わかってほしい。

・ そのまま、ありのままを受け止めてほしい。

・ 表面(行動)だけで、判断してほしくない。

・ 「知る」ことをしてほしい

あなたの身近なひとは、あなたへどんな「願い」「思い」を持っているのだろう。

あなたが「生まれた時」、「いま」の「願いや思い」も聞けたら、じっくり聴いてみよう。

* ゲストティーチャーをお招きする

・ 社会の中で理解がされにくい「タイプ」の人で、しんどい思いを持っている人たちの支援をする支援センターさんをお招きし、願いや思いを聴きます

・ ワタシとワタシのとなりの「あなた」と共に生きていくために



[授業の展開案]

共に生きていくために

1 ねらい

* いろんな人とかかわるちからを鍛える（多様性を認め合う＝自分らしく共に生きるために）

* 自分を見つめ、自分とのかかわり方、他の友達と折り合う（共存する）ちからを鍛える

（１）人権って何だ？ 人権を大切にするって何だ？ 人権週間を機会に

（２）これまでの、継続的な学習（道徳、なかまづくり）を振り返る

*自分とは違う他者とどう生きていくか？

*自分とうまくつきあい（いまの自分を認めること）、

*自分らしく（エンパワメント：成長していくちから）生きていく力を高める

（３）他者に依存できる力をつける（本当の依存＝自立・自律した生き方へ）

（４）人権週間資料も活用して・・・差別を許さない集団、仲間になろう

2 実践授業案 *学年の計画に＋×時間で調整可

*「ねらい」に向けた学習活動〈これまでの学びを深める。 3時間計画の案〉

*他計画で3時間が取れない場合は、つちのこ（予習）～＋2時間計画可

【20201時間目】

1 休み時間

・板書 めあて記入「わたし あなた そして仲間！」

・ワークシート配付

2 スタート

・ＴＴ ・めあて

3 導入 練習

・「担任」のどんなことを知っているか？

・生徒のみんなに聞いてみたい

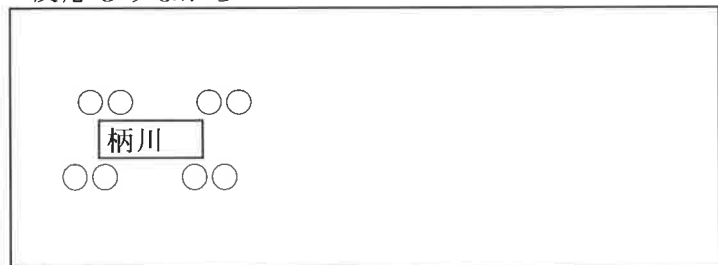
・本来なら基本は「本人」に聞くのが一番 （×うわさ 偏見が起こる）
×アウティング

・今日は「授業」だから

・ペアや3人組せず 近くで相談しても良いよ メモもなし

・聞いてみるよ 全員に いっぱい思いうかばなかったか人を指名 列順に

・柄川は板書していく 反応もみながら



・柄川先生に本当か？聴く

→「受容」 感想「もっとみんなに話したい 知ってもらいたい」

・柄川板書 東田直樹さん

4 ワークショップ 1

- ・では新しく出会ってほしい人 東田直樹さん
- ・柄川板書 東田直樹さん

柄川	東田直樹さん
	? 出てきた〇〇

・ DVD : 東田直樹さんに出会う どんな人だろう？

①集中させて視聴させる『君が僕の息子について教えてくれたこと』

★東田さんが車からでたところのみの映像

□イメージ＝人の思い込み…、見た目だけで

- ・想像も含めて

?を板書し、出てきた意見を板書

②では、DVDを最初から見てみようと思います。

見る前に

- ・なぜ東田さんを紹介したのか？

○担任時 タケくんを巡って

下校時、あいさつをしなかったタケの自転車を蹴った。

そして続いて通った他の先輩は自転車を立てて「大丈夫？」と声をかけた。学年のみんなへ話・指導で、タケを見る目が差別 変わった変なやつ あほじゃろ という考えがあるんじゃないか？「タケを知らんのんじゃないか？」

「どっちの人間になるのか？」 「人を知る必要があるのでは？」

その時に「東田さんの本やDVD」に出会って、生徒のみんなと一緒に「自分をもっと知る 仲間をもっと知る」勉強をしようと取り組むこととなった。

T 2 柄川 【ねらい】に板書付け足し→「わたし・あなたをもっと知る 仲間になるために」

- ・ どんな人かわかったことを「メモ」してね

- ・ 続きを視聴していく

- ・ 飛び跳ねる東田さん… □VTRの題や意味がわかりにくそうならばいったん停めて、説明。

- ・ 窓が気になる東田さん…□生徒の視聴の様子をよくみていく

- ・ キーボードで伝える東田さん… VTR 14 : 22 まで

- ・ メモをもとにどんな人か聞いてみる

例：自閉症 キーボード 飛び跳ねる 本を書く・・・

板書

めあて「わたし・あなたをもっと知る 仲間になるために」	
...	...
柄川	東田
...	...



名前の周りにいっぱい「その本人のコト」書く

DVD冒頭の、Michele さん、息子、東田さん、
母親の関係性を図式に簡単に書く（補足）

④生徒の東田さんのとらえ方（わかったこと 感想）を出し合う中で、彼の「タイプ」をまとめる

- ・「すごい」というコトバには、何が「すごい」のか聞いてみてもよいかも。
- ・障害、特性、自閉症の内容説明に深く入り込まない。

◎自閉症だけではない たくさんの「今」の「じぶんらしさ」

必要なら、補足：＊柄川先生にも確認

- ・板書が柄川の全て？ いな

（２）自分のこだわり、タイプ 気になることはある？か考えさせる。

①授業者自身のこだわり、タイプ、苦手なことをモデリングする。

（マイナス、プラス、明るく、真剣に、自分の生き方で大切なこと）

②じっくりと考えさせて、WSに記名させる。とてもしんどいことなら無理にかかなくてもいい。開示させない、でも、逃がさず深く考えさせよう。

↓今回は言及出来ていないので、②時間目で問いかけます。

（３）落ち着いたところで「それって理解してもらえてる（わかってもらえている）？」か、考えさせる。全体で議論する

- ・わかってほしいけど、努力しているけど、むずかしいんよ
 - ・親はわかってきている。
 - ・友達はわかってきている
 - ・なかなか言えない。
 - ・お互いに「知る」「理解する」ことは難しい…のかなあ
 - ・全員に知ってもらう必要はない。近しいひとに自分を知ってほしい
- ◎授業者自身の考えも提示して、深めていく。

○東田さんは、自分の「タイプ」を理解してもらっているのかな？

- ・家族はわかっている

◎みんなは東田さんの「見方」はどうだった？

- ・「世間という私たち」は、表面的な見方だけで、偏見や思い込みを持った眼でみてしまうおそれがあるかも。

（４）今日の感想を書く。疑問や思ったこと・考えたこと

【予習準備】

（１）次回の授業（ワークショップ）で、もっとお互いをわかり合う学習をするための予習プリントを書こう。・相談させずに→記入→回収

（例） わたし・あなた・そして仲間 予習アンケート

1年 名前（ ）

1年のなかまたちと生活をはじめて7ヶ月。

応援しあって、進路を切りひらいていく仲間になるために、また少し、1Aの仲間のことを知ろう。 いっぱいある中で1つ話してよいことを教えてください。

[見つめて]

質問 1 わたしらしい特徴（とくちょう）をひとつ教えてください

質問 2 わたしが大切にしているモノやコト、（宝など）をひとつ教えてください

[いま・わたしの持ち味]

* 餅味ではありません

質問 3 わたしの強味（がんばっていることや 特技 かな）をひとつ教えてください。

質問 4 わたしの弱味をひとつ教えてください

質問 5 わたしはを動物にたとえると （自分が思っていたり、言われたことがある場合はその動物を）

【2 時間目】特徴や持ち味（動物）だけのヒントで、それが誰なのか当てるワークショップ

（1）予習プリントをシャッフルし、全員に番号をうつ（2 番～）。

* 意図的な順番も必要

（2）ワークシート配布

（3）授業者（担任）も混ぜておき、1 番にして、ワークショップのモデルにする。

（4）2 番～ 数名進める

「難しい」という声を聴き、グループにする。

①小さな声で相談してもよいこと

②グループで意見をまとめる必要はない。（グループ学習の掟）

③自分だと言わない

（5）時間配分に注意しながら、最後まで進める。

（6）振り返り（回答）

・ 2 番「〇〇で、強味が〇〇な、（動物）さんは…」挙手させる。

・ 生徒から生徒への質問ができたなら 1，2 個うながす。

・ でなかったら授業者から意図的な質問をしてもよい・[双方向的な語り合い推進]

（7）振り返りを数人に聞いて→振り返り欄に記入させる。

（8）次回予告

「自分」をわかってもらったり、弱味を克服（付き合う）ためにはどうするか考えます。その道のプロゲストティーチャーをお招きします

回答ワークシートのイメージ

わたし あなた そして仲間		
1	(授業者)さん	参考 * 名簿
2	さん	
3	さん	
4	さん	
20	さん	
振り返り欄		

【3 時間目】ワタシとワタシのとなりの「あなた」と共に生きていくために

～ゲストティーチャーさんをお招きして～

1 事前：(1) ホワイトボード、ペン準備

(2) テーマ（ねらい）板書

- ・前時の生徒の「振り返り」から、生徒の疑問や悩みを意識して組み立てる
- ・ゲストティーチャーへの依頼
- ・ゲストティーチャーさんからの提起内容

2 ワークショップ

*タイムマネジメントも合わせてファシリテーション的に授業を展開する。

*しゃべりすぎない。

(1) ねらいの明確化

(2) ゲストティーチャー（自己）紹介

(3) ゲストティーチャーさんから【提起 6分×2人】

取り組みから・仕事や活動

・課題、思っていること

・中学生に考えてほしいことなど

【双方向のやりとりを/ダイアログ】



(4) お話を聴いて思った質問や、これまでの学習での疑問を各グループがホワイトボードに書かせて、黒板に掲示します。（進行）

(5) 進行と相談しながら、その出た質問や疑問に対して、生徒とやりとりをしながら、

【質疑応答】（20～25分）

・ホワイトボードに質問を書いている生徒の活動を回ってみて、目安をつけてください。

・ゲストTさんがぜひ答えなければならないと思った質問は深く時間をとっても OK

（聞き直しても OK です）

・出てきた、質問のすべてに答えていただく必要はありません。

・単調な一問一答にならないようにしたいですね。



(6) 【ふりかえり・まとめ】 3分

・中学生にメッセージ

・よびかけ 施設や相談のお誘い

・配付資料がありましたら、学校で印刷します。

(7) 振り返り（5分）*時間がなければつちのこタイムでじっくり振り返り書く。

◎ 1 年 番名前

ふりかえり・まとめ ～学んだことや考えたこと～

参考：文を書くのがニガテな人（文章力を高めるために）は

「私は・・・を知った。(学んだ)」

「私は・・・だと思った。」

「私は・・・だと思った。」

*よい文章を書こうとおもわなくてよい

*まずは、考えたことや、思ったことをどんどん書いてみると

案外たくさん書けるよ。

[illegible]

ワタシとワタシのとなりの「あなた」と共に生きていくために 学んだこと 考えたこと

1年 名前

参考：文を書くのがニガテな人（文章力を高めるために）は
「私は…を知った。（学んだ）」 「私は…だと思った。」 「私は…だと考えた。」

*よい文章を書こうとおもわなくてよい

*まずは、考えたことや、思ったことをどんどん書いてみると案外たくさん書けるよ。

~書くことは考えること。考えることは生きること。~

◎学んだこと・考えたことをもとに、人権を大切にしていけるための

「吉井中人権標語」（スローガン、フレーズ、コピー、宣言等）をつくっていきましょう。

◎1年 番 名前

わたし・あなた・そして仲間 予習アンケート

1年 名前（ ）

1年のなかまたちと生活をはじめて7ヶ月。

応援しあって、進路を切りひらいていく仲間になるために、また少し、1Aの仲間のことを知ろう。 いっぱいある中で1つ話してよいことを教えてください。

[見つめて]

質問 1 わたしらしい特徴（とくちょう）をひとつ教えてください

質問 2 わたしが大切にしているモノやコト、（宝など）をひとつ教えてください

[いま・わたしの持ち味]

* 餅味ではありません

質問 3 わたしの強味（がんばっていることや 特技 かな）をひとつ教えてください。

質問 4 わたしの弱味をひとつ教えてください

質問 5 わたしはを動物にたとえると （自分が思っていたり、言われたことがある場合はその動物を）

わたしあなた

◎名前 ()

	名 前	メ	モ
1	さん		
2	さん		
3	さん		
4	さん		
5	さん		
6	さん		
7	さん		
8	さん		
9	さん		
10	さん		
11	さん		
12	さん		
13	さん		
14	さん		
15	さん		
16	さん		
17	さん		
18	さん		
19	さん		

[illegible]

2020 生き方・キャリア教育を人権学習を通して 検討資料

- 1 2年生を対象に、キャリア教育（職場体験の趣旨に沿って、勤労観・職業観の育成並びに進路学習の一環として）として位置づける。

人権課題のひとつである「ホームレス」問題を学習するが、「ホームレス」問題だけを理解するのが目的ではなく、身近な「人権（社会）問題」に向き合う姿勢を培うことができる取り組みを、感受性が豊かになる2年次に学習する。さらに進路＝生き方として捉えたときに、本取組は、望ましい職業観や勤労観の育成、さらに社会問題へ関心を高めるために有意義であると考えられる。

2 取り組むにあたって

- 「ホームレス」と出会う子どもたち（ガイドブック）、『身近なことから世界と私を考える授業（明石書店）』等を利用する。
- 岡山のホームレス支援を進めている「きずな」さんとの連携・支援をいただきながら進めていく。私たち教職員も謙虚に生徒と一緒に「学ぶ」姿勢を持って取り組む。
- 数時間の学習で「ホームレス」問題の全てを理解することは難しい。そのことを認識した上で、これからも「社会や人に」関心を持ち続けていく「出会い」を紡いでいく。

3 大切にしたいこと

- ①路上生活者の生活と路上生活に至る原因について知り、無知からくる偏見と差別を減らす。
- ②「人」を人として、人の命を大切に出来る「生き方」（実践力）につながる一助とする。
- ③生徒一人ひとりが自分との関係を考える契機になる人権課題であると考え、今なお現代社会に強固な偏見・差別が存在し、若者による「ホームレス」襲撃事件が起きている状況を変えるための具体的な学習のひとつとする。
- ④望ましい労働観・勤労観につなげていく。
- ⑤差別、偏見は「つくられる」が、また「なくすことができる」
- ⑥「ホームレス」とはいつときの生活の状態である。人をさす言葉ではない。
- ⑦路上生活という事実とホームレスの人々を結びつけて判断する際に、社会における偏見があわさってしまうと、本人が望んだ、あるいは本人の責任だけで路上生活になったという自己責任論に基づく判断をしてしまうかもしれない。判断の際、照らしあわせるべき事実は、偏見でなく、今まさに家に住んでいるという自分の生活経験である。比較すればホームレスの人々は路上生活を望んでいないという事実を想定することは容易なはず。適切な参照ができれば、適切な判断力、正しい社会認識を育てることになる。（学習ガイドより抜粋）

* 学習のながれ（案）

□事前 ○教職員で事前にDVD視聴

○ワークシートや、授業展開（流れ）を検討

□1時間目： ①「ホームレス」問題についてのワークシートを書かせる。（6分程度）

- | |
|---|
| 1 ホームレスの人に出会ったことがありますか？
2 なぜ「ホームレス」になると思いますか？
3 どうやって食べ物を得ていると思いますか？
4 生活をしていて大変なこと、嫌なことはなんですか？
5 もし会って話をするとしたら、どんなことばをかけますか？ |
|---|

* 差別的な言動がでてでも同調しない。(とがめない)
→しかしきちんと把握して、
今後の授業展開の中で「正しく」返信していく。

- ②DVD本編(30分)視聴しながら
 - ・ワークシートの内容を検証していく。
 - ・「鈴木さんの生きてきた道」からとして人の生き方から視聴させる
- ③「本当に悪いヤツはいない」「うらまない」のはなぜか?考えさせる

□ 2 時間目 :

検討◎ホームレスの人々がおかれている状況を知り、回復者の川口さんの人生と比較することで、支援や支援活動について関心を持つ

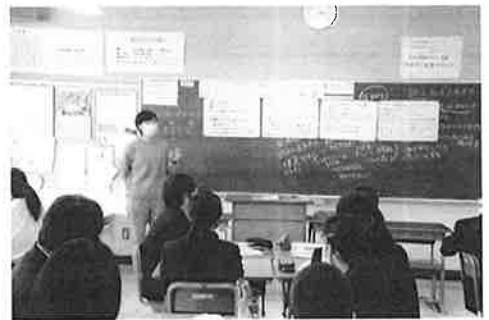
- ①公正な社会における「健康で文化的な最低限度の生活」に必要な「モノ」「コト」を考える。*社会権については未習(3年生での学習)
- ②DVDチャプター「野宿の人たちに出会う」23:40~45:20(一部)
視聴 [21分40秒]
- ③応用編「川口猛さんの生き方」から考える [16分]
 - ・公正な社会における「健康で文化的な最低限度の生活」に必要な「モノ」「コト」を考えさせながら、川口さんがホームレスの人々と違う点と理由を考える。
- ④考えたことや、新たな疑問など書いてまとめる

□ 帰りの会など)

- ・「きずな」パンフレットで、岡山での紹介
- ・『ビッグイシュー』の取り組みを知る

□ 3 時間目 ゲストティーチャー きずなさんをお招きして授業

- ①「きずな」さんの紹介
- ②「きずな」さんから報告
 - ・岡山のようす (15分程度)
 - ・取り組み、活動の紹介
- ③報告を受けてグループで質問を考える→(ホワイトボード等で掲示)
- ④きずなさんに、でてきた質問に取捨選択していただき、応えていただく
- ⑤きずなさんからメッセージ
 - * 打ち合わせが必要
 - ・実際のホームレスの人への対応は「きずな」が考えている事でよいのか疑問
 - ・一般的な事象ででなく、「ひと」がみえる活動や生きざまを紹介してほしいと願う
- ⑥お礼



□ 4 時間目 ①考えたことや感想をふりかえり、仲間と語る⇒まとめる(ワークシート)

□ オプション 冬季休業中に炊き出しボランティアの参加(希望者有志)

・「ひとのあいだ」で案内、紹介する予定です

「ホームレス」問題って？ | 鈴木さんの生きてきた道

◎ 2 年 組 番名前

① アンケート

- 1 ホームレスの人に出会ったことがありますか？
- 2 なぜ「ホームレス」になると思いますか？
- 3 どうやって食べ物を得ていると思いますか？
- 4 生活をしていて大変なこと、嫌なことはなんですか？
- 5 もし会って話をするとしたら、どんなことばをかけますか？

○『「ホームレス」と出会う子どもたち』より 事実？ 本当は？？

③ 鈴木さんの生きてきた道 「本当に悪いやつはいない」「恨まない」ってどうして？？

「ホームレス」問題って？Ⅱ

「川口猛さんの生き方」から

◎ 2 年 組 番名前

- ① 公正な社会における「健康で文化的な最低限度の生活」に必要な「モノ」「コト」って何??

- ② 川口さんがホームレスの人々と違う点と理由は??

- ③ 学習メモ

④

2020 月 日

学んだこと 考えたこと

①

[illegible]

ひとのあいだ

2021年12月13日

赤磐市立吉井中学校 地域学校協働本部

『ひとのあいだ』は、中学校の様子(学校・生徒の取り組み)を知っていただき、さらに、ご家庭と連携・協働していくため、学校・地域・家庭の教育をサポートや応援していくため、そして《めざせ吉井ブランド》の取組の一環として随時お届けします。

◆2年生は、12月9日(木)6時間目にNPO法人岡山きずな(岡山市)から川元さんをお招きしました。『ホームレス問題』学習から、〈共生社会〉〈働くこと〉〈生き方〉など、深く学ぶことができました。

□生徒の「ふりかえり」【一部を紹介します】

○「知らないことは無視につながり、関心は尊重につながる」というコトバがすごくかっこよかった。ひびきでは刑余者の支援もしていることをはじめて知った。ご飯はカレーを金曜日につくっていることもわかった。…きずなが活動することで、年々ホームレスの状態になっている人が減っていてすごいなあと思った。岡山でも路上生活のひとたちにいやがらなどする人がいることを聞いてびっくりした。暴力・いやがらせを減らして、偏見・差別をなくして、いろんな事情がある人も、自分らしいよい暮らしが出来るような社会にしていかなければいけないと思った。

○総合的な学習の時間で勉強したDVDを視ると、ホームレスの状況って苦しい生活なんだなと思った。深夜が一番怖そうだなと思った。中高生がホームレスの人に暴力をふるったり、傘を刺したり、花火を入れたりして、とてもいけないと思った。トンボ学生服さん、中国銀行さん、きずなさんの三時間の学習を通して、いろんなことが知れたし、これからの生き方につながるんだなと思った。そして将来につながるかなんかと思いました。

○私は「ホームレス」の人たちの印象はずっと寝ていて、話しかけても無視するような人たちばかりだと思っていたけど、DVDを視てみんなニコニコしていて、普通に話をしたり、優しい人ばかりだった。ちゃんと正しく知ろうとしないといけない。



□人権標語(メッセージ)

○共に生きよう!

○認め合い 学び合える なかまをつくる

○一人ひとりの優しい行動が 絆につながる

○みんな 共に生きる仲間 認め合おう

○未来には ホームレスの人をなくそう

○反差別 正しい知識で 未来へ

○認め合う 学び合う 共に生きる社会を 正しい知識でつくろう

リクさん

ユメさん

ミキさん

アスカさん

ユズさん

アイさん

リョウタさん

○吉井中の夢・希望・誇りは吉井の未来を創ります